

97億2,000万円を計上



エレベータを設置する内宿駅



増築工事を行う小針中学校

平成19年度の町の一般会計予算総額は、97億2,000万円、18年度当初予算と比較すると4億8,000万円、4.7%の減となっています。歳入においては、人口の増加等により、町税の伸びが見込まれるものの、地方交付税等の減額が予想され、大幅な財源の伸びが期待できないところです。歳出においては、公債費、扶助費等の増加により、引き続き、厳しい財政状況となっています。そうした中で、伊奈町行政改革実施計画に基づく事務事業の見直し等による経費の削減を図りながら、広報等への有料広告制度の導入、基金の取崩し等により歳入確保策に取り組み、内宿駅へのエレベータ設置、小針中学校の増築、町道整備等の事業を進めるための予算を盛り込んだものです。

会計別予算

(単位：千円、は減)

区分 会計別	19年度 予算額	18年度 予算額	増減額	%
一般会計	9,720,000	10,200,000	480,000	4.7
老人保健特別会計	1,648,067	1,548,165	99,902	6.5
国民健康保険特別会計	3,022,443	2,564,894	457,549	17.8
公共下水道事業特別会計	844,056	911,431	67,375	7.4
中部特定土地区画整理事業特別会計	312,694	1,615,134	1,302,440	80.6
介護保険特別会計	1,080,350	1,033,462	46,888	4.5
合計	16,627,610	17,873,086	1,245,476	7.0

水道事業会計

(単位：千円、は減)

		19年度 予算額	18年度 予算額	増減額	%
収益的収支	収入	987,004	1,014,018	27,014	2.7
	支出	837,979	845,732	7,753	0.9
資本的収支	収入	39,910	87,864	47,954	54.6
	支出	285,828	299,702	13,874	4.6

資本的収入が資本的支出に対して不足する額245,918千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

19年度の主な事業

単位：千円

総務関連

- 防犯まちづくり推進事業 15,900
- 内宿駅バリアフリー化事業（エレベータ設置工事） 60,812
- 新幹線側道一方通行化事業 17,682

保健・福祉・環境関連

- 障害者自立支援サービス支給事業 222,659
- 児童手当支給事業 392,117
- 基本健康診査および各種がん検診実施事業 76,110
- 焼却施設改修事業 20,643

産業関連

- 農道および用排水路維持管理・整備事業 4,784
- 商業活性化事業 11,790
- 中小企業振興資金あっせん事業 9,037

基盤整備関連

- 町道整備事業 334,069
- 記念公園整備事業 25,270
- 原市沼調節池土地利用計画事業 1,512

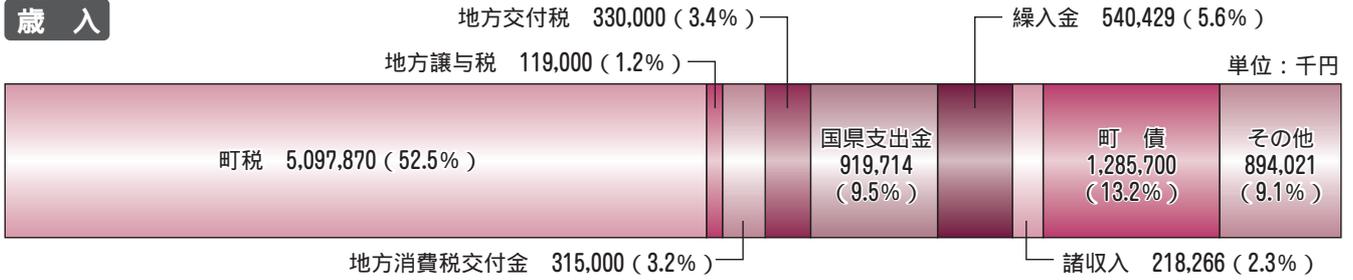
消防防災関連

- 消防緊急車両整備事業 19,296
- 消火栓設置事業 3,870

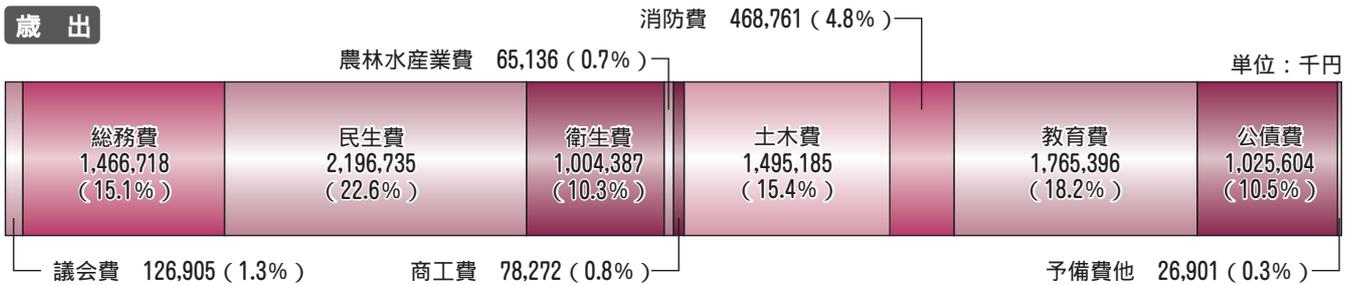
教育関連

- 幼稚園振興奨励補助事業 71,391
- 小中学校学力検査委託事業 3,690
- 小学校整備事業 230,703
- 中学校整備事業 621,205
- ふれあい活動センター施設管理事業 64,054

歳入



歳出



地方交付税

標準的な行政を運営するのに必要な一般財源が不足する地方公共団体に対して、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)の一定の割合を配分する財源をいう。

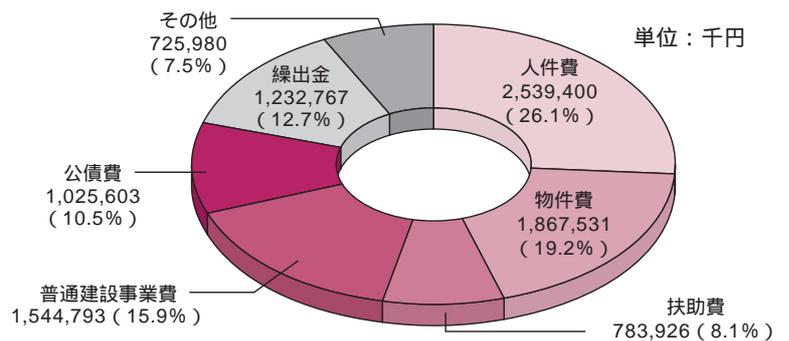
地方譲与税

本来は地方税とすべきだが、徴収が困難であったり、税源の所在が偏っているなどの理由によって、国がいったん国税として徴収し、一定の基準に従って市町村に譲与するもの。例として、自動車重量税と税、地方道路譲与税などがある。

地方消費税交付金

地方消費税の一部を財源として、県が人口と従業者数で按分し、市町村に交付するものをいう。

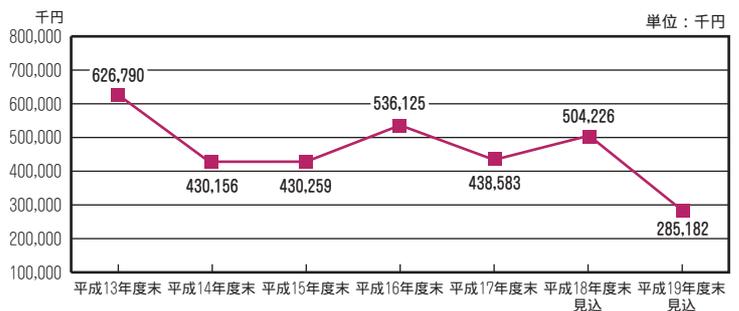
歳出を性質別にみると



財政調整基金残高の推移

経済不況などの予期しない収入減少や災害などの不時の支出増加等に備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うための積立金として、財政調整基金があります。

平成13年度までは、6億円以上あった積立金も昨今の経済状況等により、減少しています。



地方債現在高の推移

町債(町の借入金)は、区画整理等の基盤整備、小学校建設および保育所建設等により年々増え続けています。

今後の借入額については、町の財政状況を見ながら考えていく必要があります。

